



2007. 2. 22

自主学童保育ささのはクラブ

春のような日のささのはの日記

水曜日は手作りおやつの日。ラーメン屋さんの後の2・3月の水曜日は、こども達のその肩渡監視機応変で、何にしようか考えています。

「ドッジボールやるでしょ」「ドッジボールはぼんやりや。色んな声聞いてくるので、明日は外のかまど俵、とかまど料理にしようか？ さそく、今中がをしていて大好きなドッジボールが思きりできないう大地君が「おれ火おしと火の番するよ、な、いぬいもやろせ」と言っていて、決まりました。煮込みうどん、

野菜いっぱい、具だくさんの材料を1年玉ねぎ2年ニンジン3年ワケサイ4年〜大根... と切。後は「みんなまで外行こう！」たき木を集める。だいち煮いぬいちゃん。1・2年もたき木集めを手伝って、火おしバランの2人である、というまに火はボンボン火燃えて、そこから後の火の番・味つけ(味見)まで、ほのかんを揃えた4年3人が全部やってくれました。「味はどう？」「ウーン熱くてワカン、大根とワケサイと味が違うし〜ハハハ」何度も何度も味見？

その間1〜3年は、ボールの投げ、くに励む人と、ログハウスの中でのまごごと同基地ごごに所かむと(ちょっぴり鼻を使って「ドッジボールやる時は呼んで！」と言うのも忘れずに)が半々位でした。「ねえ、みんなまでドッジボールやろう！」

〈ドッジボール〉のこの最近の悩みは、1〜3年に何とか試合のやり方をわかって動けるようになってほしいと思っても、ささのはの4年生は強過ぎて、力の差があり過ぎて、1〜3年はハビにいられたカエルのようにならなうし、4年生は「女さけない」といやにならなうしという事です。そこで「ちやうど」たくんアムパークに来ていた、西野川の4年生の友達(全く知らないうちに心配、でもささのはの子達の友達で時々いっしょに遊んでいて、話のわかるいい友達)が、ささのはの4年生ほど強くないと聞いて聞いて相手にならなうことになりました。

つまり、ささのはの1〜3年生と西野川の4年生6〜7人の試合です。まず、1年生6人を呼んで「この子達は1年生だからチカゲンしてね」とお願いすると「おかつたヨ、この子達は軽気こやるから、でも1年、2もチカゲンない」「でも中身は1年生だからよろしくね」ささのはの4年生達は、高い所に陣取って「パスだ」とか「足をねえ」とか「ヨシシ、いいぞ！」とか「アイツはうまいからねらうぞ！」とかさんざん応援してくれて、2・3年生にとっても当たられたり、取れたり、初めて試合らしい試合ができて、とてもうれしかったです。その後1年4年の試合は対、友達4人の文才戦も、4年生達も満足そう、おやつのは、煮込みうどんも友達もいっしょにみんなでお食べました。(試合中にうどんも汁をす、と、やたらに量が増えて良かった)「ウメ〜」と言って食べてくれて良かった。ついでにカマドの火も燃して「原始人みたいで面白い」と、... (ささのはの子達は原始人の生活?) ホカボカ陽気の上、ホカボカ気分になれた(日でした)。

ミニホッケー、楽しんでました。

寒、旧た、たけど、みんな動きに動き回って、こども文化センターの集会室の狭いコートとは違って、思い切った打って、とても満足したおです。練習をしていた時は、あまり面白くは思わなかった様子だったので、広いコートで、自分のアシーが、ゲームの中で生かされているのを見て、「私、スポーツが得意だったのネ」という気持ちを持ってた人もいたようで、何だかドッジボールにも積極的にならなうたのはビックリです。

子どももおとも、みんなまで体を動かしてスポーツをするの、とても面白くてお返いがわり合える気がしますね。又しぶりに参加した6年生達が、大きくなると、4年生達を主役にならなうようにフォローしながら、さすが6年らしい動きをするのには感じました。

ドッジボールを集めます。1人2ゴ お願いします。

ささのはの家のトイレ用トイレットペーパーに使います。よろしくお願ひします。